

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公表番号】特表2008-530138(P2008-530138A)

【公表日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-031

【出願番号】特願2007-555370(P2007-555370)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 17/04 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 17/04

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月16日(2009.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳類のアトピー性皮膚炎に罹患した皮膚を治療するための医薬組成物であって、前記罹患皮膚が皮膚リンパ球抗原陽性 T 細胞により特徴付けられ、前記医薬組成物が、配列番号 2 又は配列番号 4 に表わされるアミノ酸配列を含んでなるポリペプチドに特異的に結合する抗体又は抗体断片を含んでなり、前記医薬組成物の投与に伴い、前記抗体又は抗体断片によって罹患皮膚を改善、予防、抑制又は低減する、医薬組成物。

【請求項 2】

前記のアトピー性皮膚炎に罹患した皮膚が掻痒性である、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 3】

哺乳類のアトピー性皮膚炎に関連して生じる掻痒症を治療するための医薬組成物であって、前記掻痒症が皮膚リンパ球抗原陽性 T 細胞により特徴付けられ、前記医薬組成物が、配列番号 2 又は配列番号 4 に表わされるアミノ酸配列を含んでなるポリペプチドに特異的に結合する抗体又は抗体断片を含んでなり、前記医薬組成物の投与に伴い、前記抗体又は抗体断片によって掻痒症を改善、予防、抑制又は低減する、医薬組成物。

【請求項 4】

前記抗体又は抗体断片が、配列番号 2 に表わされるアミノ酸配列を含んでなるポリペプチドに特異的に結合する、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記抗体又は抗体断片が、配列番号 4 に表わされるアミノ酸配列を含んでなるポリペ

チドに特異的に結合する、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の医薬組成物による治療を要するアトピー性皮膚炎を患う個体における治療応答を予測するための方法であって、
前記個体由来の生体試料から循環皮膚リンパ球陽性 T 細胞を分離する工程と、
分離された皮膚リンパ球陽性 T 細胞からの IL - 3 1 産生を検出する工程とを含んでなる方法。

【請求項 7】

前記皮膚リンパ球抗原陽性 T 細胞を刺激又は活性化する工程を更に含んでなる、請求項 6 記載の方法。